令和６年度

いじめ見逃しゼロ

新潟県内の特別支援学校では、
標語・ポスターコンクールを通して、
「いじめ見逃しゼロ」「絆づくり」
「ネットいじめ防止」に取り組んでいます。

ポスターの部 会長賞３点

「みんななかよし　いっしょにあそぼう」
新潟県立高田特別支援学校 小学部４年 共同作品

「絆～ぼくたちは一生友達だ～」
新潟市立西特別支援学校 中学部 ３年２組

「心のキズ」
新潟県立江南高等特別支援学校 高等部３年　長谷川　愛夢

標語の部 会長賞３点

笑顔が１番　みんな仲良く　手と手をとり合い　楽しい毎日
新潟県立長岡聾学校　小学部６年　前田　誌音

「どうしたの？」　言ってみよう　やさしい言葉
妙高市立総合支援学校　中学部１年　加藤　陽基

いじめゼロ　人の個性を　リスペクト
新潟県立江南高等特別支援学校　高等部２年　烏羽　蓮哉

新潟県特別支援学校「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール
新潟県特別支援学校長会

※掲載：学部・学番順

標語の部 特別賞 8点

標語	学校名	学部	学年	氏名
笑顔でね　明るく会うよ　あいさつで	新潟県立柏崎特別支援学校	小学部	6年	近藤　優衣
許せない　豊かな心　奪う人	新潟県立新潟よつば学園	中学部ろう教育部門	2年	平田　結愛
一人じゃないよ　みんながいるよ 抱え込まずに　相談しよう	新潟県立新発田竹俣特別支援学校	中学部	2年	青山　櫂斗
大丈夫？　勇気を出して　声かけよ	新潟県立吉川高等特別支援学校	高等部	3年	草﨑　千寿
ふりかえる　まずは自分の　その言葉	新潟県立はまなす特別支援学校	高等部Aコース3年		
優しさと　笑顔を増やして　いじめゼロ	新潟県立佐渡特別支援学校	高等部	2年	藤井　結希乃
そのメール　記録は消せても　記憶は消せぬ	長岡市立高等総合支援学校	高等部	1年	栗野　瑠里香
SNS　あげて大丈夫？　その言葉	南魚沼市立総合支援学校	高等部1年		

標語の部 金賞 8点

標語	学校名	学部	学年	氏名
「いっしょにあそぼう」「いいよ」「ありがとう」 やさしい　ともだち	新潟県立東新潟特別支援学校	小学部	5年	芝山　叶望
かすりキズは　治るけど 心のキズは　治らない	新潟県立村上特別支援学校	中学部	2年	富樫　蓮
すくいだそう　まずは行動 だれでも　もっている勇気	新潟県立新発田竹俣特別支援学校	中学部	1年	鈴木　結太
君もいじめに気付いていますか？	新潟県立新潟よつば学園	高等部自立教育部門	3年	正阿彌　龍李
いやなこと　責めてばかりじゃ　傷進む 励ませられれば　傷は止まるよ	新潟県立江南高等特別支援学校	高等部1年		
前を見て　君の隣に　僕がいる 君のそばには　仲間がいるよ	新潟県立江南高等特別支援学校	高等部	3年	佐藤　康太郎
広めよう幸せあつまるふわふわ言葉	新潟県立新発田竹俣特別支援学校	高等部	2年	佐藤　慎晟
傷ついた　君の気持ちに　気づきたい	新潟県立佐渡特別支援学校	高等部	1年	渡部　聡理

ポスターの部 特別賞 3点

※掲載：学部・学番順

「てをつなごう」

新潟県立村上特別支援学校　小学部２年
磯部　翼・太田 みか・大滝 琉偉
佐藤　岳・本間 暁人・室本 紬心

「ありがとうのはな　さかせよう」

新潟県立高田特別支援学校
中学部２年　共同作品

「広げよう みんなのハッピー いじめのない世界を」

新潟県立新発田竹俣特別支援学校
高等部３年　近藤　颯

「ひすいなかよし」

糸魚川市立ひすいの里総合学校
小学部１年～６年　共同作品

「な　か　ま」

十日町市立ふれあいの丘支援学校
小学部１～６年 共同作品

ポスターの部 金賞 6点

「仲良くして」

新潟県立新潟よつば学園 中学部
もう教育部門２年　渡邉　柚来

「つたえたいことばでいっぱい」

見附市立見附特別支援学校　中学部１～３年共同作品
大久保 弥咲・土田 照成・齋藤 佑真
佐野 創平・竹内 湊斗・長井 希夢
森口 みうか・寺尾 美雪・原山 紘季
山田 悠斗・山之内 琉翔・吉田 悠人

「あなたの心に花を咲かせよう」

新潟県立長岡聾学校
高等部１年　市橋　蓮

「人種差別もいじめ」

新潟県立佐渡特別支援学校
高等部２年　内藤　聖

新潟県特別支援学校「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール 実施概要

○「いじめ見逃しゼロ」「絆づくり」「ネットいじめ防止」をテーマとした標語・ポスターの募集

○ 応募総数　842点　【標語の部】721点　【ポスターの部】121点　（令和６年７月２～10月15日）

○ 応募校　　38校

県立新潟よつば学園　県立長岡聾学校　県立長岡聾学校高田分校　県立江南高等特別支援学校
県立江南高等特別支援学校川岸分校　県立西蒲高等特別支援学校　県立川西高等特別支援学校
県立吉川高等特別支援学校　県立村上特別支援学校　県立新発田竹俣特別支援学校
県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校　県立駒林特別支援学校　県立五泉特別支援学校
県立五泉特別支援学校村松分校　県立月ヶ岡特別支援学校　県立月ヶ岡特別支援学校見附分校
県立小出特別支援学校　県立はまなす特別支援学校　県立高田特別支援学校　県立高田特別支援学校白嶺分校
県立佐渡特別支援学校　県立東新潟特別支援学校　県立はまぐみ特別支援学校　県立上越特別支援学校
県立吉田特別支援学校　県立柏崎特別支援学校　県立柏崎特別支援学校のぎく分校　新潟市立東特別支援学校
新潟市立西特別支援学校　見附市立見附特別支援学校　長岡市立総合支援学校　長岡市立高等総合支援学校
小千谷市立総合支援学校　十日町市立ふれあいの丘支援学校　南魚沼市立総合支援学校
妙高市立総合支援学校　糸魚川市立ひすいの里総合学校　新潟大学附属特別支援学校

○審査及び表彰

・部門別に、小学部・中学部・高等部ごとに審査
・会長賞（最優秀賞）、特別賞（優秀賞）、金賞・銀賞・銅賞（奨励賞）、を選定し、賞状を授与

○優秀作品を集録したリーフレット、ポスターを、県内特別支援学校及び小・中学校等へ配付

○優秀作品の巡回展示を、令和７年６月～令和８年２月に県内３会場で実施予定

講　　評

今年のコンクール、私は作品を見るたびに、子供たちの心の奥底まで連れて行かれたような気がしました。まるで、一編の物語を読んでいるかのようでした。

新潟県いじめ防止基本方針にもあるように、「いじめは、どの子供にも、どの学校でも、起こりうる」問題です。しかし、今回の作品は、ただ問題を指摘するだけでなく、希望の光を私たちに見せてくれました。

「笑顔」「一緒に遊ぼう」という言葉は、まるで太陽の光が教室に差し込むようでした。温かい言葉は、心の凍りついた部分を溶かし、優しい気持ちにしてくれます。一方、「自分の言葉、気付いている？」「心のキズは治らない」という言葉は、私の心に深く突き刺さりました。この言葉は、私たちに、いじめ問題に対してもっと真剣に向き合うべきだと訴えているようです。

ポスターもまた、心の風景を描いていました。明るい色合いの作品は、みんなが仲良く過ごせる、温かい世界を表現しているようでした。逆に、暗めの色合いの作品は、いじめによって傷ついた心の闇を表現しているようでした。しかし、どの作品にも、それぞれの子供たちの強い思いが込められていました。

共同制作の作品からは、子供たちの協力し合う姿が目に浮かびました。たくさんの色や形が一つに集まり、新しいものが生まれる。それは、まるで、みんなが力を合わせれば、より良い未来を作ることができるというメッセージのように感じられました。

今回のコンクールを通して、私は、子供たちが、いじめ問題に対して、どれほど深く考え、感じているのかを改めて知りました。子供たちは、ただ被害者になるだけではなく、問題解決のために、自分たちで考え、行動しようとしています。子供たちの作品は、単なる標語やポスターではありません。それは、未来を照らす希望の光です。この光を、私たち大人もしっかり受け止め、未来へと繋いでいかなければなりません。子供たちの未来が、笑顔で溢れるように、私たちはこれからも全力でサポートしていきたいと思います。

最後に、今回のコンクールを企画・運営してくださった先生方、そしてご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。そして、素晴らしい作品を作ってくれた児童生徒の皆さん、本当にありがとうございました。これからも、私たちは、子供たちと一緒に、いじめのない、そして誰もが安心して過ごせる社会を目指してまいります。

結びに、子供たちの作品は、私たちの心に、希望の種をまきました。この種を大切に育て、みんなで未来という大きな花を咲かせていきましょう。

新潟県特別支援学校長会
会長　山田　澄人